

委員からの質問への回答等について

1 平成 30 年度業務実績について

(1) 本編

No.	委員	頁	病院	確認事項	病院機構からの回答																								
1	鮎澤委員	23	全体	主要指標について、計画比の情報をご教示ください。	<p>・病床利用率（H30 年度計画比）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>病院</th> <th>H30実績</th> <th>年度計画</th> <th>対計画</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>信州</td> <td>81.2%</td> <td>80.9%</td> <td>0.3%</td> </tr> <tr> <td>駒ヶ根</td> <td>78.5%</td> <td>80.0%</td> <td>-1.5%</td> </tr> <tr> <td>阿南</td> <td>60.4%</td> <td>70.0%</td> <td>-9.6%</td> </tr> <tr> <td>木曾</td> <td>78.1%</td> <td>72.6%</td> <td>5.5%</td> </tr> <tr> <td>こども</td> <td>78.0%</td> <td>73.4%</td> <td>4.6%</td> </tr> </tbody> </table> <p>・平均在院日数、経常収支比率、医業収支比率、職員給与費率、医療材料比率については、年度計画の目標数値がありません。</p>	病院	H30実績	年度計画	対計画	信州	81.2%	80.9%	0.3%	駒ヶ根	78.5%	80.0%	-1.5%	阿南	60.4%	70.0%	-9.6%	木曾	78.1%	72.6%	5.5%	こども	78.0%	73.4%	4.6%
病院		H30実績	年度計画	対計画																									
信州		81.2%	80.9%	0.3%																									
駒ヶ根	78.5%	80.0%	-1.5%																										
阿南	60.4%	70.0%	-9.6%																										
木曾	78.1%	72.6%	5.5%																										
こども	78.0%	73.4%	4.6%																										
2	52	阿南	常勤外科医の確保の見通しについてご教示ください。 また、常に医師不足が叫ばれておりますが、機構、県としての安定的な医師確保のための対策についてご教示ください。	<p>・平成 31 年 4 月に常勤外科医を確保しました。</p> <p>・信州大学医学部との連携や、理事長・病院長の人的ネットワークを通じた働きかけ及び医師研究資金貸与制度の活用などにより、医師の確保に努めています。</p> <p>・県立病院間で、理事長や改革統括医療監による内科外来診察業務をはじめ、医師等の相互派遣を積極的に行い、診療体制の維持に努めています。</p>																									
3	60	木曾	収益が増加しているのに、材料費が収益の増額以上に減少している主な要因についてご教示ください。	<p>・高額な薬剤（肝炎薬等）の購入が減少したこと、診療材料費購入の見直しにより購入単価が減少したこと、また、院外処方方を推進したこと（H30 年度院外処方箋発行率 84～88%）等が要因と考えられます。</p>																									
4	小口委員		信州・木曾	信州、木曾の地域包括ケア病床の利用率は？	<p>・平成 30 年度の地域包括ケア病棟の病床利用率は、以下のとおりです。</p> <p>信州医療センター：85.1%</p> <p>木曾病院：81.1%</p>																								
5			各病院	各病院の患者満足度調査の結果は？	<p>・平成 30 年度患者満足度調査の結果として、県立病院機構の平均値は調査に参加した病院の平均値を上回っており、昨年度との比較でも、概ね病院に対する患者の満足度の向上が見られました。</p> <p>・調査結果から課題を抽出、検討し、今後の病院の経営や医療サービスの改善につなげていきます。</p> <p>・また、併せて実施した「組織文化調査」においても、昨年度と比較して、全体的に組織の業務・経営・職場環境等に対する職員の満足度の向上が見られました。</p>																								

6		信州	信州の新規に採用した電子カルテ(石川コンピューター)は信州メディカルネットとの接続は?将来電子カルテの県内統一化に支障はないか?	<ul style="list-style-type: none"> 信州メディカルネットは、現在利用(接続)していません。(新たに専用機器を導入すれば接続は可能) 電子カルテの県内統一化については、平成31年3月に締結された「長野県と国立大学法人信州大学との地域医療の推進に関する覚書」に基づき、検討する方向を確認したところです。
7		阿南・木曾	阿南、木曾の老健の評価は?	「平成30年度業務実績等報告書 別冊」p.13～14のNo.18「阿南介護老人保健施設」～No.19「木曾介護老人保健施設」に実績と評価(両施設ともA評価)を記載しましたが、本来は報告書の本体部分にも記載すべき内容であるので、次年度から改めます。
8		木曾	木曾の財務内容が大きく好転した理由は?	<ul style="list-style-type: none"> 地域包括ケア病棟を開設したことにより、患者の病状に応じた急性期、回復期、慢性期病棟の効果的な運用が可能となったことによる収入の増及び、非常勤職員の人員適正化による給与費の削減、減価償却費の減、院外処方推進や単価見直し等の材料費の減等による費用の削減が経営改善に結びついたと考えます。

(2) 別冊

No.	委員	頁	病院	確認事項	病院機構からの回答
1	鮎澤委員		全体	小項目間に重要度の差はないという理解でよろしいでしょうか?	<ul style="list-style-type: none"> 重要度の差は設けていません。
2			全体	再掲の項目が複数ありましたが、1つの実績につき2度評価になっていないでしょうか? 原則は1項目1評価にできるようにご検討ください。	<ul style="list-style-type: none"> ご指摘のとおり、一つの実績で複数の小項目を評価している箇所があります。 ご指摘いただいた点については今後の検討課題とします。
3			全体	実績を数値で示しているものにつき、計画に数値目標がないものについて、評価の妥当性が判断しにくいと思いますので、今後の検討課題にさせていただければと思います。 (例えばP2の1:時間外救急患者8,822人は100%受け入れる目標に対し、何パーセント受け入れられたのかが重要な指標になるのではないのでしょうか。 また、2の訪問診療283件は目標が何件であったのかが分からず、評価の妥当性の判断をしにくいです。)	<ul style="list-style-type: none"> ご指摘いただいた点については年度計画に可能な限り数値目標を入れる方向で対応してまいります。

4	9	阿南	<p>「実績数値においては、前年度を下回るものもあるが、職員が不足しているなかで職員一丸となって、種々の事業に取り組んでいる状況を鑑み、所期の目標を上回る成果が得られていると評価する。」とあります。</p> <p>人員不足の中で一生懸命ご対応されている点は評価すべきですが、計画未達であれば、A評価は難しいのではないかと感じました。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・計画数値を示していない項目等が多いため、数値的な基準で自己評価するのは難しいが、項目全体をみて、職員が事業に真摯に取り組んで、実施しているものが多く見受けられるため、目標を上回っての成果が得られていると判断します。 ・ご指摘の考え方もあることは承知しているが、それ以上の頑張りを評価しました。
5	24	信州	<p>誤植：表一番下 「11.29 丸子町」 現在上田市になります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ご指摘ありがとうございます。修正します。
6	26	駒ヶ根	<p>病床稼働率の算定において、常時対応型施設としての空床 2床は算定に入れているのでしょうか。</p> <p>政策として空床にしているのであれば、算定から除くか、病床稼働率の目標に加味するべきではと感じました。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・精神科救急医療対応としてベッドコントロールにより 11 床ある保護室のうち 2床を確保していますが、病床利用率の算定には入れています。 ・運用病床として 129 床で届け出ており、対象となる入院患者も利用率の人数に入れることから、2床について加味することは難しいと考えます。 ・政策上の空床確保にご理解いただいた意見ありがとうございます。
7	41	阿南	<p>前期より実績がすべて下回っておりますが、A評価とされている点に違和感を覚えました。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・前年数値より減少しているが、目標は機器の利用数の向上ではなく、その機器を利用して健診回数の上を目指し、より充実した診療体制を図ることが出来たと思われるのでA評価としました。
8	132 ～ 133	各病院	<p>待ち時間調査の分析結果がありましたご教示ください。 (午前、午後、曜日(診療科)での分析結果など。短縮前後の情報もあれば)</p>	<p>【信州】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・H30年4月～12月の外来診療待ち時間は、平均24分。(H31年1月～3月は電カル変更の影響で測定できず。) ・比較的待ち時間が長い診療科は、整形外科(35分)、皮膚科(39分)。 <p>【駒ヶ根】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電子カルテ更新の際、個人ごとに受付からの待ち時間を把握できるようにし、適切な対応がとれるようになった。H30の平均待ち時間は22分で、H29より2分改善しています。 <p>【阿南】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外来患者満足度調査(2018)によると、1時間以上待ち時間の割合が5%減少し、待ち時間満足度も対前年比4%向上しました。 <p>【木曽】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎年同時期の一定期間の待ち時間を集計し、過去3年の推移をサービス向上委員会で分析しています。 ・平成30年度は、予約をした場合、全ての科で10分以内に診察されている患者が多いが、予約外の場合、整形外科・小児科を除き、待ち時間が長くなる傾向にあります。

				<p>【こども】</p> <ul style="list-style-type: none"> 患者満足度調査結果によると、昨年度は1時間～1時間30分待ちの割合が最も多かったが、平成30年度は30分～1時間の割合が一番多くなり、昨年度より改善されました。
9	177	本部	<p>ホームページの見やすさ、使いやすさ、検索のしやすさについての利用者からのご意見がありましたらご教示ください。</p> <p>また、各病院情報の更新頻度についてご教示ください。</p>	<p>【信州】</p> <ul style="list-style-type: none"> 年度初めに内容の見直しを行うほか、修正や追加等が生じた都度更新しています。 <p>【阿南】</p> <ul style="list-style-type: none"> H30更新実績 45回（データ更新、お知らせ掲示等） <p>【木曾】</p> <ul style="list-style-type: none"> H30年度にHPをリニューアルし、見やすく分かりやすい画面になった等の意見がありました。 更新頻度は月に2～3回程度です。 <p>【こども】</p> <ul style="list-style-type: none"> 随時更新しています。 <p>【本部】</p> <ul style="list-style-type: none"> 今年度ホームページのリニューアルを検討しています。
10	186	信州	<p>病床利用率について、病床削減前のH30.4～11と削減後のH30.12～H31.3の利用率についてご教示ください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 病床利用率（一般病棟）は、H30年4～11月の平均が78.9%、H30年12～H31年3月の平均が86.0%です。
11	186	駒ヶ根	<p>常時対応型施設の空床2床を除いた場合の病床利用率をご教示ください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 2床を除いた127床で計算した場合の病床利用率は79.8%（稼働率80.9%）です。
12	186	阿南	<p>病床利用率について、病床削減前のH30.4～H31.1と削減後のH31.2～3の利用率についてご教示ください。</p>	<p>H30.4～H30.12(85床)：58.5%</p> <p>H31.1～H31.3(77床)：66.6%</p> <p>詳細は資料2-2①を参照してください。</p>
13	192	全体	<p>H30年度の資金収支マイナスの理由について主な要因をご教示ください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> H30年度計画では資金収支は、退職給付引当金取崩(8億7千万円余)や企業債償還金(26億8722万円余)がピークとなることから、△273百万円となる計画でありました。(平成30年度業務実績報告書P28参照) その中で、H30年度は経常収益が計画以上に確保できたため、資金の減少額は圧縮しました。(計画より+36百万円、△237百万円)

2 第2期中期目標期間の業務実績の見込みについて

(1) 本編

No.	委員	頁	病院	確認事項	病院機構からの回答
1	鮎澤委員	8	本部	資金収支の均衡について、それが達成できていない根本原因をご教示ください。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県立の時代に投資した病院の改修費用等の返済（企業債償還金と支払い利息等）が、第2期中期計画期間中は相当な額となっております。 ・ そのうえで、資金収支の均衡を維持するためには、その支払に必要な現金を確保する予定で第2期中期計画を策定しました。 ・ しかしながら、資金収支の均衡を維持するための医業収益等が確保できませんでした。 ・ キャッシュフローの計画と実績の対比については資料3-1のとおりです。
2		27	阿南	へき地医療の提供ですが、ICTや町村と協力するなど、医師が現地に行かなくても同等のサービスが提供できないか、研究していただきたいと感じました。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 医師が実際に現地に足を運ぶことで地域に安心感を与えるという面もありますが、持続可能な医療サービスの提供や医師の負担軽減の観点からも、先端技術の活用や地域との一層の連携については、今後、研究していくべき課題と考えています。
3	小口委員			各病院の新入院患者数の推移をお示しください。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 資料2-2②のとおりです。

(2) 別冊

No.	委員	頁	病院	確認事項	病院機構からの回答
1	鮎澤委員		本部	目標・計画に対し、「整備した」でA評価となっているものがありますが、実績がないため、評価がしにくいと感じました。	<ul style="list-style-type: none"> ・ ご指摘の点は今後の課題としたいと思えます。 ・ 数値目標が無いものについては、年度計画に対して取り組んだ実績を持って、評価しました。
2			本部	資金収支均衡が大きくずれた理由を明確にしていただけませんか 特に設備投資について、1億円以上でも結構ですので、この中期計画での投資額、減価償却費計上額、その差額をご教示ください。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 投資額の計画に対する実績については、資料3-1のとおりです。
3			本部	H30年度は非常に業績改善されましたが、今後も利益計上が続いたとしても業績賞与の支給はされないということによろしいでしょうか。 職員のモチベーションとして業績賞与の導入を検討される場合は、移行時に組合と合意した県職員と同水準を維持するということが改定されるということによろしいでしょうか	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現状の給与制度ではご指摘のとおりです。 ・ 今年度、医師の業績評価の検討を開始したところです。

			(悪い時は県に合わせ、良い時は独自にというようないいとこ取りのような対応はされないということでもよろしいでしょうか)																					
4	阿南・木曾	高倉・台地区を除き、利用者が大幅に減少しておりますが、この原因と今後の対応についてご教示ください。 また、利用者の中に重篤な方はいらっしゃるのか、ご教示ください。		<ul style="list-style-type: none"> 人口減少に伴い利用者も減少しているが、自治体と連携し利用について住民へ呼びかけるなど利用者の確保に努めています。 へき地医療の提供は、県立病院が担うべき使命と考えており、利用者が減少傾向にあるものの、県から財政的支援を受けながら、引き続き実施する方針です。 いずれの地区も重篤な患者はいません。 																				
5	駒ヶ根・阿南	信州メディカルネット利用件数ですが、H30年度の駒ヶ根は43、阿南は14ではないでしょうか？ (平成30年度業務実績等報告書P52)		<ul style="list-style-type: none"> いずれもご指摘のとおりです。 																				
6	研修センター	ハワイ大学のシミュレーションセンターに職員を派遣されておりますが、派遣の成果としてはどのようなものがあるのか、ご教示ください。		<ul style="list-style-type: none"> 各病院において、修了生を中心にシミュレーション教育を活かした研修を実施し、職員の育成に取り組んでいます。 また、平成28年度より、研修センター主催で実施している長野県内の医療従事者を対象とした「シミュレーション教育指導スキルアップシリーズ」において、講師を務め県内の医療従事者の育成に取り組んでいます。 																				
7	各病院	職員派遣等について、具体的な人数をご教示ください。		<p>【信州】</p> <p>H29 須坂看護専門学校 医師11人、看護師21人、コメディカル3人 信州大学 医師2人</p> <p>H30 須坂看護専門学校 医師12人、看護師16人、コメディカル2人 信州大学 医師2人</p> <p>【駒ヶ根】</p> <p>H30 信州木曾看護専門学校 医師18人、看護師11人 長野県看護大学 医師4人、看護師4人</p> <p>【阿南】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>派遣先</th> <th>27</th> <th>28</th> <th>29</th> <th>30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>信州木曾看護専門学校</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>阿南高等学校</td> <td>6</td> <td>6</td> <td>6</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>飯田女子短期大学</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table> <p>【木曾】</p> <p>H30 213人 (例年同程度の人数) (医師105人、看護師86人、リハビリ技術職員19人、薬剤師1人、MSW2人)</p>	派遣先	27	28	29	30	信州木曾看護専門学校	1	1	1	1	阿南高等学校	6	6	6	6	飯田女子短期大学	2	2	2	2
派遣先	27	28	29	30																				
信州木曾看護専門学校	1	1	1	1																				
阿南高等学校	6	6	6	6																				
飯田女子短期大学	2	2	2	2																				

				<p>【こども】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講師 H27:18人、H28:28人、H29:32人、H30:30人 ・小児科専攻医 H30:1人 																																																																							
8		全体	医療事故等の件数の推移についてご教示ください。	<ul style="list-style-type: none"> ・資料2-2③のとおりです。 																																																																							
9		各病院	セカンドオピニオンの紹介件数についてご教示ください。また、紹介を受けた件数をご教示ください。	<ul style="list-style-type: none"> ・下表のとおりです。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>病院</th> <th>区分</th> <th>27</th> <th>28</th> <th>29</th> <th>30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">信州</td> <td>紹介件数</td> <td colspan="4">把握していない</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>受けた件数</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">駒ヶ根</td> <td>紹介件数</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>受けた件数</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">阿南</td> <td>紹介件数</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>受けた件数</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">木曾</td> <td>紹介件数</td> <td colspan="4">20</td> <td></td> </tr> <tr> <td>受けた件数</td> <td colspan="4">0</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">こども</td> <td>紹介件数</td> <td>14</td> <td>10</td> <td>20</td> <td>14</td> <td></td> </tr> <tr> <td>受けた件数</td> <td>10</td> <td>9</td> <td>8</td> <td>11</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	病院	区分	27	28	29	30	信州	紹介件数	把握していない				3	受けた件数	3	3	2	0		駒ヶ根	紹介件数	0	0	0	0		受けた件数	0	0	0	0		阿南	紹介件数	0	0	0	0		受けた件数	0	0	0	0		木曾	紹介件数	20					受けた件数	0					こども	紹介件数	14	10	20	14		受けた件数	10	9	8	11	
病院	区分	27	28	29	30																																																																						
信州	紹介件数	把握していない				3																																																																					
	受けた件数	3	3	2	0																																																																						
駒ヶ根	紹介件数	0	0	0	0																																																																						
	受けた件数	0	0	0	0																																																																						
阿南	紹介件数	0	0	0	0																																																																						
	受けた件数	0	0	0	0																																																																						
木曾	紹介件数	20																																																																									
	受けた件数	0																																																																									
こども	紹介件数	14	10	20	14																																																																						
	受けた件数	10	9	8	11																																																																						
10		信州	中期計画中の待ち時間の推移についてご教示ください。	<ul style="list-style-type: none"> ・H27:29分、H28:28分、H29:26分、H30:24分 (H30は4~12月分) ※外来全体の平均待ち時間 (受付から診療科開始までの時間を測定) 																																																																							
11		本部	自己評定の理由で、「想定しえなかった外部要因」とありますが、具体的に記載された方がよりわかりやすいと感じました。	<ul style="list-style-type: none"> ・ご指摘の趣旨を踏まえ、今後のとりまとめの参考にさせていただきます。 																																																																							
12		本部	自己評定の理由で、資金収支の均衡が917百万円のマイナスについて、経営改善プログラムの実施による収益確保、経費削減、医師確保などで対応されるとありますが、そもそも前提に無理があったとすると、その点も明記したほうがいいのではないかと思います。	<ul style="list-style-type: none"> ・ご指摘の趣旨を踏まえ、今後のとりまとめの参考にさせていただきます。 																																																																							

委員からの質問への回答等について（資料編）

① 阿南病院の病床利用率の推移

平成30年12月まで

運用病床数85床	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	平均
入院患者数(人)	1,521	1,590	1,304	1,674	1,759	1,472	1,532	1,306	1,520	1,520
病床利用率	59.6%	60.3%	51.1%	63.5%	66.8%	57.7%	58.1%	51.2%	57.7%	58.5%

平成31年1月から

運用病床数77床	1月	2月	3月	4月	5月	6月	平均
入院患者数(人)	1,712	1,619	1,283	1,457	1,456	1,243	1,462
病床利用率	71.7%	75.1%	53.7%	63.1%	61.0%	53.8%	62.9%

※ 入院患者数にはその日に退院した者を含んでいない

② 新規患者数の推移

(単位：人)

項目		区分	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H30/H29
新規患者数	信州医療センター	外来	26,501	25,052	24,943	24,623	98.7%
		入院	5,114	4,747	4,949	4,882	98.6%
	こころの医療センター駒ヶ根	外来	1,213	1,026	1,054	971	92.1%
		入院	557	560	556	545	98.0%
	阿南病院	外来	4,444	4,242	4,424	4,562	103.1%
		入院	921	1,067	1,039	969	93.3%
	木曽病院	外来	9,958	9,471	9,186	9,065	98.7%
		入院	2,659	2,619	2,490	2,540	102.0%
	こども病院	外来	4,042	4,052	3,932	3,899	99.2%
		入院	3,647	3,615	3,790	3,795	100.1%

③ 医療事故発生件数の推移（単位：件）

レベル	H27	H28	H29	H30
3b 以上	41	32	40	31
2・3a	658	712	793	802
0・1	1,782	1,807	1,606	1,461

【影響度分類】

レベル	障害の内容	障害の継続性	障害の程度	分類
5	死亡（原疾患の自然経過によるものを除く）	死亡		アクシデント
4	永続的な障害や後遺症が残った	永続的	軽度～高度	↓
3b	濃厚な処置や治療を要した	一過性	高度	
3a	簡単な処置や治療を要した	一過性	中等度	
2	処置や治療は行わなかった	一過性	軽度	
1	患者への実害はなかった	なし		インシデント
0	エラーや医薬品・医療用具の不具合が見られたが、患者には実施されなかった	—		↓